【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公開番号】特開2015-52397(P2015-52397A)
【公開日】平成27年3月19日(2015.3.19)
【年通号数】公開・登録公報2015-018
【出願番号】特願2013-183753(P2013-183753)
【国際特許分類】
Ｆ２５Ｄ　23/06　(2006.01)
Ｆ２５Ｄ　23/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２５Ｄ　23/06　Ｗ
Ｆ２５Ｄ　23/02　３０４Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成27年9月10日(2015.9.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
手掛けハンドルを有する枠体と、前記枠体によって支持された強化ガラスと、前記強化ガラスの内面に設けられた真空断熱材と、前記真空断熱材を覆うように前記枠体に固定された内壁と、前記内壁と前記強化ガラスとの間で形成された断熱空間内にポリウレタンフォームを充填した引出し式扉を有する冷蔵庫において、
前記真空断熱材に前記手掛けハンドルと干渉しないように立ち上る立ち上がり部を形成し、前記立ち上がり部を前記内壁と前記手掛けハンドルとの間に配置すると共に、前記立ち上がり部と前記手掛けハンドルとの間の空間、及び前記立ち上がり部と前記内壁の間の空間に前記ポリウレタンフォームを充填したことを特徴とする冷蔵庫。
【請求項２】
請求項１に記載の冷蔵庫において、
前記真空断熱材の前記立ち上がり部と前記手掛けハンドルの端面とを接触させたことを特徴とする冷蔵庫。
【請求項３】
請求項1に記載の冷蔵庫において、
前記真空断熱材の前記立ち上がり部と前記手掛けハンドルとを離間させ、前記強化ガラスと前記立ち上がり部との間に形成された空間に前記ポリウレタンフォームを充填したことを特徴とする冷蔵庫。
【請求項４】
請求項３に記載の冷蔵庫において、
前記立ち上がり部の先端に前記手掛けハンドルとほぼ平行な平行部を連続して形成すると共に、前記平行部の先端面を前記枠体に近接するように延ばしたことを特徴とする冷蔵庫。
【請求項５】
請求項３に記載の冷蔵庫において、
前記立ち上がり部を弧状に形成すると共に、前記立ち上り部の先端面を前記枠体に近接するように延ばしたことを特徴とする冷蔵庫。